

災害及び感染症発生時における一般廃棄物収集運搬等の支援に関する協定を締結

甲賀市において、風水害、地震等の災害の発生や新型コロナウイルスなどの感染症の拡大により、市内の一般廃棄物の収集運搬等に支障が生じた場合においても、その事業が継続できるよう支援業務に関する協定を10月19日に締結しました。

この協定は、市内のごみ収集を受託いただいている株式会社水口テクノス様、株式会社日映日野様、株式会社ヒロセ様、および、滋賀県内のし尿汲み取り・ごみ収集運搬業者で構成する県環境整備事業協同組合様、甲賀市との5者による締結となっています。

災害等による有事の際にも、ごみ等の収集と運搬が継続され、市民の生活環境が確保できるものと大きな期待を寄せるものです。



▲左から(株)水口テクノス 小山代表取締役、(株)日映日野 中村代表取締役社長、岩永市長、(株)ヒロセ 廣瀬代表取締役社長、滋賀県環境整備事業協同組合 榎田理事長

問合せ 生活環境課 廃棄物対策係 ☎69-2145 FAX 63-4582

元気なまちかど in 東京



甲賀の魅力を東京で発信 ～ここ滋賀3周年大感謝祭～

東京・日本橋にある滋賀県の情報発信拠点「ここ滋賀」の開設3周年を記念し、10月29日から11月5日まで、滋賀の多彩な魅力を発信するイベントやキャンペーンが開催されました。

中には、甲賀市の餅や酒を味わう催しや信楽焼たぬきの制作体験もあり、甲賀の魅力を東京で発信する機会となりました。



11/1 近江の餅を楽しむ会

ねばりと伸びがあり、きめ細かく甘みのある最高級のもち米「滋賀羽二重糯」でつくる紅白餅を味わう「近江の餅を楽しむ会」。

当日は、甲賀もち工房から作り手が出向き、もち米と餅作りの秘話を紹介しました。



▲よく伸びる餅は参加者の皆さんに大変好評でした

11/3 親子で楽しめる！信楽焼たぬき制作体験

信楽陶器工業協同組合の皆さんの指導のもと、参加者は、たぬきの型にねんどを詰め、思い思いに文字や模様を入れ、自分だけのオリジナルたぬきをつくりました。

でき上がった作品は信楽で焼き上げ、後日参加者のもとへ届けられます。



▲自分だけのオリジナルたぬきをつくる参加者

11/1 滋賀のお酒で乾杯！リモート酒蔵見学

田中酒造(甲賀町大原市場)・喜多酒造(東近江市)とここ滋賀 2階レストラン「日本橋 滋乃味」をリモートでつなぎ、酒蔵見学が行われました。



◀3種類のお酒を紹介する田中酒造の田中さん



「ここ滋賀」ではお酒のお話を聞きながら、各酒造とおきのお酒と料理を堪能



◀酒蔵見学の最後にはくノ一が登場し、「甲賀流リアル忍者館」をPR

全 国植樹祭を盛り上げよう！ ～トヨタ紡織グループ「環境の森」青土秋のプレ植樹祭～



▲苗木を植える参加者

「秋のプレ植樹祭」が10月17日、トヨタ紡織グループ「環境の森」青土(土山町)で行われました。

トヨタ紡織滋賀株式会社では、土山山林財産区管理会と琵琶湖森林づくりパートナー協定を結び、環境保全活動を行ってられます。今回は、令和4年に甲賀市を主会場に開催予定の全国植樹祭に向け、機運を高めようと開催されました。

この日はあいにくの雨でしたが、トヨタ紡織滋賀(株)の社員や家族の皆さん、県や市の関係者など約50人が広葉樹の苗木を植えました。

抱 え上げない介護が 甲賀市を変える ～介護しやすい環境をめざす研修会～



▲機械を使った「抱え上げない介護」を実演する職員

「介護しやすい環境をめざす研修会」が10月24日、かえで会館で開催されました。

この研修は、道具や機械を活用し、無理に抱え上げない介護方法を学び、介護を受ける人も介護をする人も「安全・安心・安楽な介護」が実践されることをめざすものです。

びわこリハビリテーション専門職大学の^{たおだかずし}埴田和史教授による講話と、水口医療介護センターケアセンターささゆりの職員による実演が行われ、市内の介護職員など約70人が真剣なまなざしで受講しました。

元気なまちかど

「シンガポール」ってどんな国？ ～甲賀市国際交流協会 海外交流事業～



▲シンガポールについて紹介するリーさん

甲賀市国際交流協会による海外交流事業「シンガポールってどんな国？」が10月24日、まる一むで行われました。

この催しは、甲賀市が東京2020オリンピック・パラリンピックにおいてシンガポールのホストタウンに登録されたことから、まずはシンガポールのことを知ってもらおうと企画されました。

当日は、シンガポール出身で守山市在住のジョーリーさんによるシンガポールの文化などの紹介やリーさんが趣味で作られた切り絵の抽選会が行われました。

忍 者と香り 和のアロマセラピー・ 薬湯を作ろう ～甲賀忍者に学ぶ薬草健康術連続講座～



▲(左) 思い思いに薬草を混ぜ、入浴剤をつくる参加者 (右) 見た目も華やかな薬草入浴剤

「甲賀忍者に学ぶ薬草健康術連続講座」の第5回「忍者と香り、和のアロマセラピー・薬湯を作ろう」が11月1日、くすり学習館で行われました。

この日は、ハーブインストラクターの^{たけなかじま}竹中島みちよ先生から、忍者が変装や疲労回復などに生かしていた薬草や香りの知恵についてお話を聞いたあと、ヨモギ・カキドオシ・ハッカなどの薬草を混ぜて、薬草入浴剤を作りました。